

G7 議長国 プレスリリース（仮訳）

財務省・日本銀行

2016年10月11日

G7 財務大臣・中央銀行総裁は、「金融セクターのサイバーセキュリティに関する G7 の基礎的要素」を支持した。この作業は、金融セクターのサイバーセキュリティを改善するために、「G7 伊勢志摩首脳宣言」や「サイバーに関する G7 の原則と行動」で求められたコミットメントを果たす上での重要な進捗を示している。この要素は拘束力はないが、全ての規模の公的・民間金融セクターの主体にとってのサイバーセキュリティにおけるベスト・プラクティスを包含しており、各主体固有の特質や、直面するサイバーリスクに対応して設計されている。

サイバー攻撃の頻度、深刻さ及び精巧さは増しており、国際金融システムのサイバーセキュリティの改善は G7 各国にとって極めて重要な目的である。国境を越えたサイバー事案や悪意のあるサイバー活動は、世界のいかなる国においても発生しうる。これらの進行中の課題を認識し、G7 は、G7 サイバー・エキスパートグループを通じて、金融セクターのサイバーセキュリティを改善するための作業を継続する。